

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	(上屋)事業予備費	会計名称	伊予港上屋特別会計		担当課	土木管理課		
		予算科目	2 款 1 項 1 目	事業番号	9205	所属長名	武智年哉	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	宮崎栄司		
法令根拠等	港湾法、愛媛県港湾管理条例、伊予市港湾施設管理条例				実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造					【終了】	平成	年度(予定)
	活力ある商業・工業の振興							■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	海上輸送に伴う企業等の原材料及び製品等の一時保管場所として上屋施設（倉庫）を提供することで、商工業、さらには地域経済の振興・発展に寄与する。							
事業の対象	上屋利用者		事業の目的	市営上屋施設（倉庫）の維持管理を適正かつ効率的に行うための予備費				
事業の内容（整備内容）	市営上屋施設（倉庫）の維持管理について、緊急時に対応するための予備費		評価事業としないこととした理由	予備費は不測の事態に備えた予算であり、通常時は執行しないことを踏まえるとともに、これまで執行された実績もないことから、評価事業になじまない。				

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項 目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項 目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
財源内訳	直 接 事 業 費	0	100	0	0	0	0	予算執行額	千円	0	0	0	0
	国 庫 支 出 金		0	0	0	0	0						
	県 支 出 金		0	0	0	0	0						
	地 方 債		0	0	0	0	0						
	そ の 他	0	100	0	0	0	0						
	一 般 財 源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工（にんく）数		0.00	0.00				0.00						
1人工当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費＋人件費		0	100				0						
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		予備費							
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
						100	100	100	100	100	500		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	本事業は、伊予港上屋事業（貸倉庫）の予備費を計上する事業であるが、本年度についても予備費の支出はなかった。		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	予定外の支出に備えるものであり、事業継続とする。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容
--------------------	----------------------

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	